



Reitaku Overseas Development Association

RODAニューズレター

財団法人 麗澤海外開発協会 会報

平成20年
(2008年)
11月15日

第11号

第6巻 第2号
年3回発行

主な記事

巻頭 Laos小学校校舎完成
報告 チャリティーコンサート開催
お知らせ タイ・スタディツアー募集
その他 寄付金等の報告

発行所：財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL.04-7173-3165 FAX.04-7173-8953
<http://www.reitaku.or.jp>
発行人・木下廣太郎 / 編集人・横山守男

ラオス サワナケート タート・インハン小学校 校舎完成! 「新しい校舎で勉強できてうれしいです!!」

麗澤海外開発協会がラオスでの小学校校舎再建事業の一環として、平成20年1月に着工したサワナケート県のタート・インハン小学校校舎が完成し、8月20日に贈呈式を挙行了しました。麗澤海外開発協会では、役員2名、事務局員1名とともに麗澤大学の学生5名がスタディツアーに参加、式典に参列しました。

式典では建設に協力いただいたSVA(シャンティ国際ボランティア会)ラオス事務所所長、スタッフほか、ラオス官公庁関係者、教育関係者、住民、生徒等、200名以上のたくさんの方々に参加いただき、村の教育の発展に対する大きな期待と熱意が感じられた式典となりました。

また教室の校舎には、新しい黒板、机、椅子が搬入され、9月から始まる新学期より使われるとあって、生徒たちは大変楽しみにしている様子でした。

こうした訪問によって、学校関係者や村人からは多くの感謝の言葉とともに、「より良い教育を行い、子どもたちに将来のラオスに役立つ人間になってほしい」という言葉を幾度となく聞きました。麗澤海外開発協会では、今後、校舎建設後の運営支援や図書館建設を進め、皆様からのご支援が最大限に活かされ、教育環境の向上に役立てるように努めてまいります。皆様からのご支援のお陰で新校舎が完成できたことに、あらためて深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



Laos 小学校校舎の贈呈式に参列しました！

ラオス 教育支援活動

ラオスのタート・インハン小学校へ到着すると、校庭のテントには小学校の生徒や多くの村人たちが集まっており、日本からの一行を花の首飾りで出迎えてくれました。

厳粛な中、式典が始まり、ラオス側の出席者からのスピーチに続き、麗澤海外開発協会からは会長の挨拶文を代読、ラオス語に通訳していただきました。記念品の交換に続き、新校舎の教室においてラオスの伝統儀式であるバーシーの儀式が執り行われました。村人や先生、生徒一人ひとりから祈りの言葉とともに、糸を手首に巻いてもらうという貴重な体験もさせていただきました。

昼食会の盛大な料理はどれもおいしく、日本人に合わせて辛さを控えて作ってくださったり、日が傾くとテントをずらしてくださったりと、言葉以上の気持ちが伝わってきました。日本からの参加者たちは皆、ラオスの方たちのおもてなしに感激で胸がいっぱいになったようです。

後日、現地より、新しい教室で暴雨を心配することなく、安心して勉強している生徒たちの様子をとりえた写真が届きました。「勉強できることが楽しい！」・・・そういうラオスの子どもたちの姿に、あらためて考えさせられた旅になりました。

報告：渡辺朋子(麗澤海外開発協会スタッフ)



代表によるテープカットの様子



バーシーというラオス伝統の儀式を盛大に執り行っていました



生徒たちと一緒に記念植樹



新しい校舎で勉強する子どもたちの様子

Nepal

ネパール 医療支援活動

Report from the spot 現地レポート

平成20年6月13日から15日までの3日間、アメリカ・ボストンにある国内で最も古い鍼灸学校「NESA」(New England School Of Acupunctuer)においてネパール鍼灸の普及を行う機会をいただき、ドキドキ半分、ワクワク半分で参加してまいりました。

NESAの3つの実習室はとても広く、高さ調節つきの治療ベッドと使い捨てシーツ、枕カバー、換気排煙設備、消毒薬入り水道など、私が卒業した鍼灸学校とはずいぶん違った設備の学校でした。

今回の参加者はNESAの先生と学生さん、またボストンで開業している先生やカナダ在住の日本人鍼灸師の方など15名で、先生・生徒という堅い枠がなく、とてもフランクでリラックスした雰囲気の中で行われました。

服の上から行う太い棒灸(ボストンでは「roll moxa」)を見て、参加者の皆さんは最初「本当に治療に使えるの?」と疑心暗鬼でしたが、実際に風邪気味のモデルが20分の施灸後「体が軽くなり、頭がすっきりした」と言う感想を述べたところ、

皆さんの目が輝いていくのわかりました。

そこで早速パートナーを組み実習に入ることに。最初はタオルが焦げないか、火傷をしないか心配していたようですが、今回の参加者は鍼灸院開業者や、実習を積んでいる学生ばかりだったため、皆さんはとても呑み込みが早く、棒灸のやり方やネパール鍼灸をよく理解してくださったようです。

遠く離れたアメリカの地でもネパール鍼灸が受け入れられたことに大変うれしく思いました。

報告：畑美奈栄(鍼灸師)



棒灸の説明をする筆者(右)



パートナーを組み実習

財団法人モラロジー研究所主催

「生涯学習フェスタ2008」に参加しました



体験してもらいました。120名を超える体験者の方は肩や足腰がとても楽になったと和やかな顔で帰られ、大盛況のうちに終了することができました。

秋晴れの中、10月5日(日)千葉県柏市において(財)モラロジー研究所主催の「生涯学習フェスタ2008」が開催され、もぐさを使った「棒灸」の無料体験コーナーとパネル展示を行いました。

ネパールで医療支援活動を行っている畑美奈栄氏が一時帰国し、東洋鍼灸専門学校の学生や畑氏と縁のある鍼灸師にお手伝いいただき、実際にネパールの現場で使われている施術を



Thailand

Report from the spot

現地レポート

タイ北部 教育支援活動

6月ごろから9月にかけて、タイ・チェンライは雨季になり、いくつかの小さな山に囲まれたメーコック財団は、美しい緑の中、子どもたちものびのびと生活をしています。目の前を流れるメーコック川は降り続ける雨で水かさを増し、何度か川岸にあるオフィスの近くまで迫ってくるほどでした。2月のスタディツアーのときに野菜の苗を植えた畑も川に飲み込まれ、まったく見えなくなります。

メーコック財団では5月の新学期から新しく加わった子どもたちを合わせ、アカ族やラフ族を中心に3歳から18歳までの子どもたち38名が寮生活しながら学校へ通っています。両親が麻葉の売買で捕まり刑務所にいる子ども、親や親戚がいても学校へ通わせることができない家の子どもや、家族が生活のためにばらばらに暮らしている子どもなど、さまざまな理由でメーコック財団に来た子どもたち。幼いころから自分や家族が直面している問題を受け止め、精一杯生きています。

一人ぼっちでメーコック財団に来て、違う村や民族の子どもたちと共同生活を始める子どももいます。中には村とは違う生活、毎日の掃除や食事の当番があり、規律を教えられる生活に馴染めずに勝手なことをしたり、中には物を盗んだり火遊びをしてしまう子どももいて、それまでの家族の問題や不安定な生活から、彼らが精神的に受けた影響をうかがわせます。そんな子どもたちを果たして、日本の子どもたちが失った目の輝きがある・・・と簡単に言うことができるのでしょうか。北部タイにはメーコック財団の子どもたちのような必要な支援を受けられずにいる子どもたちもいます。背景にある問題に目を向け、私たちにできることを考えてみませんか。

報告：渡辺朋子(麗澤海外開発協会スタッフ)



メーコック川のほとりにある机とベンチは憩いのスペース



小さい子どもたちもゴミ集めのお手伝い



メーコック財団責任者のピパット氏(左から3人目)と財団の相談役を務める当協会竹原理事(その右隣)



緑いっぱいメーコック財団、建物は男子寮



MIRC(モラロジー国際救援運動推進委員会)の寄付で建てられた女子寮

ラオス・タイスタディツアー開催!



ラオスのタート・インハン小学校贈呈式へのツアーに参加した麗澤大学生5名は、ラオス訪問後、タイのメーコック財団をはじめ、タイ北部チェンライにある小学校や少数民族の村などを訪問、たくさんの貴重な体験をしました。スタディツアーを通して成長した学生たちの感想の一部をご紹介します。



子どもたちと一緒に料理

メーコックでは親がするような仕事を子供たちがきちんとこなしていて、ただただ感心してしまいました。彼らはみんな楽しそうで目が合うといつもやさしく微笑んでくれた。親がいなかったり満足いく生活ができなかったり、それぞれみんな辛い状況にいるのに、みんな毎日を笑顔で過ごしていて、こちらが逆に勇気を与えられてしまったほどである。たとえ裕福な生活ができなくても、豊かなところは育つことを改めて感じる事ができた。

日本にもホームレスは存在するが、物乞いをされたのは初めてだった。心が痛んだと同時に、自分がこんなに豊かに生活出来ていることに感謝しなければいけないと思った。また、何らかの理由で両足を失い這って歩くしか出来ない少年を見たのは、今回のツアーで最もショックな出来事だったかもしれない。(中略)この少年だけではない。きっとこのような境遇の人たちは世界にまだまだ存在する。その一部の現状を目の当たりに出来たことだけでも、このツアーに参加した価値があると思う。この出来事は、恵まれた環境しか知らない私に、生きることの厳しさを考えさせた。



紙芝居を手作りして披露



タイ北部の小学校と一緒にダンシング♪

この旅を終えて、私は日本には絶対にできない体験をし、多くのことを学び取ることができたと強く感じる。日本で知識を得るだけの勉強をするだけではなく、実際に現地に行って経験することがどれだけ自分の身になるのかということを実感した。日本に帰った今、



ラオスの伝統料理でもてなしていただきました



ラオスのお寺を見学

私はタイ・ラオスの現状を更に知りたくもなったし、勉強していこうと思っている。また、私が経験し、学んできたことを今後自分の生活でどう生かすかをしっかりと考え、行動していきたい。今回このスタディツアーに参加できたことを大変嬉しく思うとともに、機会があればまた是非タイとラオスに行ってみたいと思う。

「募金箱」で国際協力



職場のカウンターにいかがですか(貯金箱の大)

麗澤海外開発協会では平成20年4月より新しく募金箱を作成しました。ご家庭や職場のカウンター、お店のレジの脇に置いていただいたり、講演会やイベントなどで募金活動をしていただくなど、多くの皆様にご協力をいただいております。日本では少しのお金も、他国では子どもたちの勉強道具に変わったり、また1つの大切な命を救うお金になるかもしれません。募金箱を置く側も、お金を入れる側も立派な国際協力。一緒に国際協力の輪を広げてみませんか。

募金箱には大(14.5×18.1×6.5cm)と小(6.6×7.9×5.9cm)がありますので、事務局にお問い合わせください。

たくさんのご支援 ありがとうございます

(平成20年6月から平成20年9月末日)

皆様からいただいた会費や寄付金などは、ネパール・タイ・ラオス・カンボジアへの教育・医療支援活動や、海外において災害などが発生した場合の緊急支援活動に役立らせていただいております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

種類	年額
会費	個人 1口1万円(1口以上) 法人 1口1万円(3口以上)
竹原基金	任意の寄付金を募ります
一般寄付金募金	任意の寄付金を募ります

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義(財)麗澤海外開発協会

※通信欄にご寄付の種類をご記入ください。

銀行口座：三菱東京UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義(財)麗澤海外開発協会

会費

荒川安幸、大井武、水田恵一郎、大内栄三、YUTAKA UYEDA、内田誠一郎、古川益二、須坂輝子、久保智子、出町友里子、久慈芳子、堀内一史、鷺津邦男、廣池幹堂、平塚靖永、木村幸夫、戸田正宏、横山輝男、横山守男、桑島義智、甲良昭彦、望月雄二、望月靖子、望月淑子、望月敏雄、東京北モラロジー事務所レインボー会、発坂卓雄、小西直之、松本哲洋、海部津島モラロジー事務所、齋藤芳男、宮島達郎、柏谷康博、横山印刷(株)、白木和彦、白木ふさ子、(有)白木園芸、関哲夫、山本幾雄、木下廣太郎、林正勝、藤村薫、竹原茂、山本祥子、小林雅純、井上照悟

竹原基金

堀内一史、上山桂子、廣池幹堂、(株)サンローズィ顧問 岩田文明、木村幸夫、横溝久子、中日臨海バス(株)、(株)華月、横山守男、山中一孝、桑島義智、甲良昭彦、飯島孝夫、麻生和孝、村松正章、大木光章、八戸モラロジー事務所、発坂卓雄、小西直之、松本哲洋、ウィクラマラタナ文子、柏谷康博、白木和彦、関哲夫、山本幾雄、木下廣太郎、竹原茂、山本祥子、所一彌、坂巻沙冬子、井上照悟

一般寄付金(募金)

高橋伽羅、井出一男、三上ハツミ、中野芳典、MGC事務局、太田徳昭、堀内一史、岐阜県モラロジー経済同友会 中新田モラロジー事務所、朝日山和旦、爽やかゴルフサークル 森俊一郎、帯広モラロジー女性クラブ、笠原茂、廣池幹堂、麗澤瑞浪中学・高等学校生徒会、木村幸夫、(有)東和加登啓司、南陽モラロジー事務所、飯島孝之、横溝久子、鈴木秀子、柿本勇人、横山守男、板橋芳夫、武原賢三郎、(株)ダスキン東横、河野道昭、杉山直、MGC九州サークル、モラロジー研究所京都出張所、一瀬英薫、高知県モラロジー協議会、増田顕次郎、甲良昭彦、京都東山区モラロジー事務所、京都伏見区モラロジー事務所、上田モラロジー事務所、藤井宏之、発坂卓雄、野中康弘、増田顕次郎、ウィクラマラタナ文子、島村弘子、下川浩、白木貞一郎、松島利充、名古屋中村モラロジー事務所、関哲夫、山本幾雄、木下廣太郎、所一彌、井上照悟

(敬称略)

会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は、掲載に同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。

(麗澤海外開発協会事務局：04-7173-3165)

チャリティーコンサート ～アジアの子どもたちに学校を！！～

ご参加・ご協力いただき **まことにありがとうございました！**



さる9月28日(日)に、麗澤海外開発協会主催による初めてのチャリティーコンサートを千葉県市川市の行徳文化ホールにおいて開催いたしました。

第1部では、当協会ならびに麗澤大学ボランティアサークル「プアン」の活動紹介と、当協会理事の竹原茂氏のご家族による発表、第2部では5組のアーティストによる音楽コンサートを行いました。会場には、約380名の皆様がお越しください、和やかな心温まるコンサートにすることができました。また、会場では多くの方々にタイの民芸品のご購入や寄付金へのご協力をいただきました。その結果、コンサート開催の目的である、タイ・ラオスにおける教育支援のための援助金も予想を超えるものとなりました。これもひとえに、当協会の趣旨に賛同し出演してくださった演奏者の方々、会場にお越しくださった皆様、当日ご参加いただけないにも関わらずチケットの購入や寄付金にご協力くださった皆様、その他多くの方々のご支援とご協力の賜物と、心より感謝申し上げる次第です。



懐かしのメロディーで会場を盛り上げた斎藤恵美さん

なお、本公演の収益金は、タイ北部の子どもたちへの教育施設「メーコック財団」への運営支援金およびラオスのタート・インハン小学校の図書館建設資金として、有効に使用させていただきます。今後とも、麗澤海外開発協会へのご協力とご支援をお願い申し上げます。

チャリティーコンサート実行委員会 委員長 望月雄二



「可愛い！」と大評判だった
フレーベル少年合唱団

竹原理事のご家族も
ラオスを想って歌いました



華麗なピアノを聞かせる
泉ゆりのさん(写真左)

姉妹でバイオリンを演奏する
「土谷佳菜子 with アンサンブル
"NEO"」(写真右)



藤弥美里さんは
ポップスの名曲を披露

麗澤海外開発協会のこれまでの
歩みや「プアン」の活動を紹介



タイ・スタディツアー **参加者募集!!**

平成21年 **2月8日(日)~2月16日(月) 9日間**

8日は千葉県柏市で
事前研修

北部タイの教育問題について現地で触れ、学び、また生活習慣の違う子どもたちとの交流から、他国や異文化への理解を深めます。訪問するメーコック財団は、タイ北部の街、チェンライから車で約1時間の場所にあり、山岳民族の中で貧困により学校に通えない子ども(現在3歳から18歳までの子ども38名)のために寄宿舎を提供し、奨学金を支給する教育支援活動や職業訓練などの活動を実施しています。スタディツアーを通して視野を広げ、自らの新しい可能性を発見してみませんか。



参加費用 20万円 (航空運賃及び燃油サーチャージの価格により変動する場合がございます)

含まれる費用 : 往復航空運賃、空港使用税、期間中の宿泊費・食費・移動費、コーディネート費、謝礼金(チップ)

含まれない費用: パスポート取得費用、海外旅行傷害保険費、集合前及び解散後の移動費、その他個人的諸経費、自由行動中の諸経費、当協会会費

訪問先 タイ バンコク、チェンライ

募集人数 13名 (定員になり次第締め切ります)

応募資格

- ・年齢18歳以上(20歳未満の方は保護者の承諾書が必要)
- ・健康状態が良好な方
- ・当会の活動に関心があり、会員である方(会員でない方はツアー申込み時にご入会ください)

必要な物 パスポート(有効期限が6ヶ月以上あるもの)

申込方法 申し込み用紙をご請求ください。申し込み用紙に必要事項を記入し、パスポート写真掲載頁のコピーを添えて、事務局へご送付ください。

締切日 平成20年12月5日(金)



(財)麗澤海外開発協会 事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL : 04-7173-3165

FAX : 04-7173-8953

E-Mail : kaikyo@ga.reitaku-u.ac.jp

H P: <http://www.reitaku.or.jp/>

